

総合防犯設備士 合格体験談

総合防犯設備士の昨年度合格者の中から3名の方に、合格体験談をお寄せいただきました。これから総合防犯設備士を目指す方々には大変参考になる良きアドバイスとなっております。皆様のチャレンジをお待ちしております。

体験談 1



総合防犯設備士 第17-355号
株式会社グッドライフ 代表取締役
宮本 昇幸

— これから総合防犯設備士を目指す、皆様へ —

警察人生のうち、長年、刑事警察に身を置いて、悪質、巧妙化する犯罪を目の当たりにするたび、警察力だけでは、立ちいかなくなってきたと感じておりました。防犯カメラや侵入警報システム等について調べていたとき、防犯対策や防犯機器についてハード・ソフトの両面から学べる、防犯設備士資格のことを知りました。

防犯設備士の資格を取ってからは、被害者への防犯指導や警戒場所を選定することにも役立ちました。また、DIYで行った自宅の防犯カメラの施工にも参考になりました。その後、危機管理や犯罪機会論などに興味を持ち、新たに総合防犯設備士を目指そうと思いました。

受験勉強について、自己流で参考になるか分かりませんが、ご紹介します。

まず、日防設のホームページの「過去問サイト」過去5年分の問題解答を手書きノートにしました。手軽にダウンロードできないことが、逆に、学習効果を高めたと思います。次に、過去問と「総合防犯設備士テキスト」を突き合わせ、テキストの該当部分に付箋・マーカーをしました。出題傾向の分析になる他、テキストを読み込むことで、解答部分が導き出された背景を知ることが出来て記憶の助けとなり、何より、実務に役立ちました。セミナーは2回受け、講師の方から重要と言われた部分を、資料と自分のテキストにチェックし、自分なりの想定問題を作りました。ポイントの絞り込みに非常に役立ちはじめました。最後は、想定問題を、ひたすら手書きして覚えました。また、スマホのメモ帳機能や録音機能を使って記録した文字や音声を覚えるのも、スキマ時間学習には、良いと思います。

今春、早期退職して起業しましたので、培った知識、経験、取得した色々な資格を生かし、「安全・安心・快適・幸せ」な社会を、ワンストップで実現できるような仕事をしたいと考えております。安全・安心面だけでなく、少子高齢化や労働人口減少等、社会の様々な問題解決にAIやIOTの活用が呼ばれていますが、それらの情報発信と活用ができる総合防犯設備士は、今後、益々、重要なになってくるのではないかと思います。

スティーブ・ジョブズも、挑戦し続け、経験を積むことの重要性についてこの様に語っています。「今は先を読めなくとも、大切なのは、点と点はいずれ繋がると信じることだ。」と。

体験談 2



総合防犯設備士 第17-370号
大阪ガスセキュリティサービス株式会社
営業第二部 業務用チーム 第1グループ
川邊 英雄

私は、大阪ガスセキュリティサービス株式会社という警備会社に勤めております。入社13年目になります。入社時に防犯設備士の資格を取得いたしましたが、当時の所属部署が機械警備とは縁の薄い福祉関係の部署であったこともあり総合防犯設備士という防犯設備士の上位資格があることは知っていましたが受験することまでは考えておりませんでした。しかし4年前に部署異動があり、業務用機械警備の営業担当としてお客様や関連企業の各施設に対し、機械警備や入退管理システム、防犯カメラ等を提案していくこととなり、警備の勉強を一からやり直す機会を得ました。今回の総合防犯設備士の資格取得挑戦は、部署異動して積んだ経験を試す自分自身の力試しということと、まだ知識の不足している点を振り返る非常に良い機会となりました。

今回、私が総合防犯設備士資格に合格できた大きな要因は、総合防犯設備士受験セミナーを受講したからです。講師の方の親身な指導により過去問から推測する出題傾向を知ることができたのは大きな収穫でした。総合防犯設備士の試験は全て記述式の問題です。設問もセキュリティ概論の知識、警備業法の説明、警備機器の知識、警備システムのプロット、総合防犯監査等、非常に多岐にわたった知識を求めてくるものですので、受験セミナーの受講は絶対におすすめです。

今回、会社のメンバー複数名で受験したのですが、試験日が差し迫ってくるとお互いに勉強の進み具合や覚えた箇所の問題の出し合いをするなど受験に向け意気込みを高められたことも要因の一つとなったかもしれません。

今後は、「総合防犯設備士」の資格取得者ということを念頭に知識を深め、多様化する社会に適した警備提案をお客さまの気づかれていない視点からもおこなっていかなければと思います。

体験談 3



総合防犯設備士 第17-375号
医療法人 静心会 桶狭間病院 藤田こころケアセンター
医療福祉相談室

仁科 満紀子

防犯設備士取得について

私が防犯設備士を取得しましたのが平成21年12月です。翌年の平成22年4月に愛知県セルフガード協会に個人会員として入会致しました。当時(今も)、私の職業は医療・福祉の分野なので、なぜ防犯設備士に?とよく聞かれます。そこで私は【犯罪を少しでも減らすこと】とよく言います。そのような私の動機の背景には、私の父は自衛官、叔父は警察官でした。祖父は騎馬警官だったと聞いておりますので、やはり血筋なのかな、と考えたりします。

総合防犯設備士取得までの経緯

防犯設備士になり愛知県セルフガード協会においていろいろな研修会に参加させて頂いている中、最も勉強になりましたのが、平野富義先生、瀬澤外茂幸先生にご指導いただきました「防犯優良マンション認定審査」の講義でした。

平野先生はわざわざ実際の建築図面までご用意いただきまして丸一日訓練をしていただきました。もちろん私は自身の知識の低さを痛感させられたのですが、同時に両先生方の総合防犯設備士としての高い使命感と倫理観に感銘を受け、それが総合防犯設備士を目指すきっかけとなりました。

受験勉強について

今回の勉強でやはり一番効果的だったのは受験セミナーだと思います。お勧めは各分野の担当講師の違うバージョンでの二回以上の受講です。講師の先生方は、各分野に精通されていらっしゃるので、教え方、伝え方の引き出しも多く、同じ分野の講義を受けていても講師が変わるとその都度学びがあり、大変勉強になり、また、合格に向けても大変参考になりました。

お勧めの書籍としては、小宮信夫先生の著作【写真でわかる世界の犯罪ー遺跡・デザイン・まちづくり】(2017年4月30日初版)です。写真を見ながらなので、小宮先生のコメントが大変分かりやすく頭に入ってきました。そして同先生著作【犯罪は予測できる】(2013年9月20日発行)です。私が【犯罪機会論】という言葉に初めて出会った本で、受験対策はもとより、今後の私に大変大きな影響を与えた本です。

今後の抱負について

総合防犯設備士として専門的な知識を得ながら、地域住民の方に【防犯啓発活動】を行っていきたいと思います。特に、【犯罪機会論】について、もっと勉強し、【犯罪を少しでも減らすこと】に邁進していきたいと思います。